ふみびと

第３００号
発行所
文通村事務局
編集　広報部
千葉県成田市

豊かな退屈時間

雨の日に

せっかくの休み。天気の週間予報を見ると、まるで雨男にでもなったかのように、ピンポイントで傘のマークに見舞われることの多い季節。

出かけられる場所も限られてくるので、仕方なく自宅で過ごしていると、意外と家でできることというのは多く見つかるものです。

例えばいつも後回しにしていた場所の掃除だったり、ちょっと手間のかかる料理だったり。

普段は「時短」のかけ声の下、いかに早く終わらせるかを競うように行っているのですが、少しいつもより時間をかけて「丁寧」に行うと、どこか気持ちに余裕ができるものです。

そんな折に読んだ埼玉新聞の記事で紹介されていたお笑い芸人でゴミの清掃員でもある滝沢秀一さんという方の言葉。

「ごみの減量化や分別をきちんと心掛けると生き方が丁寧になって心が穏やかになる」

面倒くさくてつい疎かになってしまう些細なこと。ほんの数秒、ほんの数分を誰かに、何かに与えるように過ごすだけでも、ほんの少しだけ気持ちは豊かになっていくのかもしれません。

「一事が万事だぞ」

厳しい父が昔から口を酸っぱくして言っていた言葉。些細なことを疎かにしていたら、それだけでいい加減な人間だと評価されてしまうとよく注意されたものですが、小さなことまで人に気を遣う父は、そんな「丁寧」に生きることの大切さを伝えたかったように思います。

ちょっと憂鬱な雨の日が思い出させてくれた大切なこと。たまには、出かけられない雨の日のような「退屈」な時間も必要なのかもしれません。

普段だったらやらないような小さなことにまで気を回せるほどの「退屈」そんな豊かなひとときが。

前へ

友人と会って話をした。電話やメールでやりとりはしていたものの、顔を合わせるのは久しぶりだ。この二年で生活は大きく変化した。元に戻っていくきざしはあるものの、我慢をする時間がとても長かった。でもマイナスの出来事ばかりでもない。友人は最近読書量が増えたと話していた。在宅勤務のおかげで、通勤時間が家での読書時間になったそうだ。

「自粛生活は大変だったけれど、悪いことばかりじゃない」と話すのを聞いて、確かにと明るい気持ちになった。とはいえ、マイナスの出来事がなかったことになるわけでもない。友人とよく訪れていた飲食店はこの二年間でなくなってしまった。それに対して何かができるわけではないけれど、せめてそのことを忘れずにいたい。時々後ろを振り返ることを忘れずに、それでも前を向いて進んで行けたらと思う。

風にゆらわて誰かに届け！ 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。

誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あとは、事務局宛の返信用封筒に同封下さい。今までにない交流の始まりです。

お知らせ

7月の発送日

7月の発送は11日、25日（月）の予定です。送りたいお手紙がある場合には、**3日前**（**8日**、22日）までに事務局に到着することを、お近くの郵便局で確認の上、ポストに投函してください。

★アイデア募集中

文通村をご利用頂く中で、気になることやご要望「○○して欲しい」「○○があったら便利なのに…」など文通村をより楽しく快適にするアイデアを募集中です。皆様、お気軽にご意見下さい。